

北海道地方ESD活動支援センター ESD for 2030 学び合いプロジェクト 気候変動教育連続勉強会



●「気候変動教育」の体系化と普及を目指して

脱炭素社会の実現には、個人のライフスタイルだけではなく、社会と経済の仕組みそのものを変える必要があります。そのためには、多くの人々が気候対策の必要性や可能性を理解し、変化を前向きに受け入れていくことが求められます。北海道地方センターでは、国内の気候変動教育の本格的な体系化や地域での普及を目指し、関心のある皆さんと情報共有を行う連続勉強会を開催しています。



第1回

[日時] 2021年7月14日(水) 13:30~15:00 [参加者数] 91人
[テーマ] 地域におけるこれからの気候変動教育を考える
[講師] 高橋敬子氏(立教大学社会学部特定課題研究員・ESD研究所 特任研究員)

第2回

[日時] 2021年7月26日(月) 16:00~17:30 [参加者数] 98人
[テーマ] 気候変動教育のエッセンス国際的に見た日本の課題
[講師] 永田佳之氏(聖心女子大学現代教養学部教育学科教授)

第3回

[日時] 2021年9月7日(火) 16:00~17:30 [参加者数] 69人
[テーマ] 気候変動の地元学による共学と共創
[講師] 白井信雄氏(山陽学園大学地域マネジメント学部教授)

第4回

[日時] 2021年9月29日(水) 16:00~17:30 [参加者数] 70人
[テーマ] 気候変動教育のエッセンス国際的に見た日本の課題
[講師] 水上聡子氏(アルマス・バイオコスモス研究所代表)
福岡真理子氏(一般社団法人あきた地球環境会議事務局)

第5回

[日時] 2021年10月21日(木) 16:00~17:30 [参加者数] 57人
[テーマ] 学校教育とNPOの連携による学習の仕組みづくり
[講師] 豊田陽介氏(特定非営利活動法人気候ネットワーク上席研究員)
服部乃利子氏(特定非営利活動法人アースライフネットワーク専務理事)

第6回

[日時] 2022年2月25日(金) 18:00~19:30 [参加者数] 56人
[テーマ] 学校教育におけるESDの実施状況と教員の意識
- 中学校、高等学校に対する全国調査2020の結果から -
[講師] 谷田川ルミ氏(芝浦工業大学工学部教授)
栗島英明氏(芝浦工業大学建築学部建築学科教授)

第7回

[日時] 2022年11月8日(火) 14:00~15:30 [参加者数] 63人
[テーマ] オーストリアにおける地域の気候変動対策を担う人づくり
[講師] 高橋敬子氏(立教大学社会学部特定課題研究員・ESD研究所 特任研究員)

第8回

[日時] 2022年10月27日(木) 14:00~15:30 [参加者数] 62人
[テーマ] 社会変容と気候コミュニケーション
[講師] 江守正多氏(東京大学未来ビジョン研究センター教授/国立 環境研究所地球システム領域上級主席研究員)

ポイントを押さえてとても具体的に教えてくださり大変参考になりました。子どもだけでなく家族や企業、地域まで広げることが大切というところにも感銘を受けました。
(第5回アンケートから)



関係者間での 意見交換の場(主催)

気候変動教育意見交換会 in 札幌

日時: 2022年9月29日

参加者: 16人

(教育、行政、企業関係者)



ESD全国ネットワーク団体

意見交換会第2部

日時: 2022年9月12日(月) 13:00~16:30

参加者: 40名(ESD関係団体)(対面)

主催: ESD活動支援センター、北海道センター

次回 第9回勉強会を開催予定

12月13日(火) 14:00~15:30

講師 森朋子さん(国土館大学政経学部政治行政学科 専任講師)

テーマ: 若者のシビック・アクションを促進する気候変動教育とは?

~他者協働・社会参画アクションのすすめ~



温暖化防止活動推進員として主として意識啓発双方向のコミュニケーションの重要性を改めて学ぶことができました。
(第8回アンケートから)

全8回合計

563人の参加(のべ人数)

277件のアンケート回答

北海道内 14.8%

北海道外 85.2%

大変参考になる 71.5%

まあ参考になる 26.0%

どちらでもない 2.5%

東北モデルプログラム 「ワールド・気候スタディズESD/SDGs」

講演&ワークショップ (7/4)

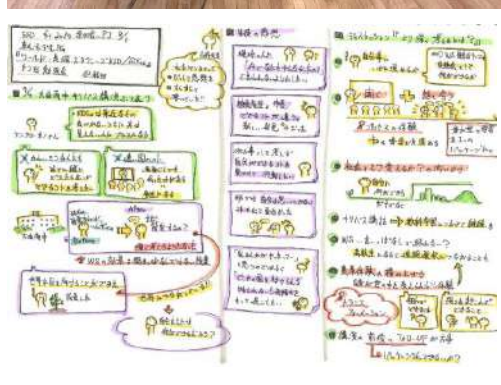
大曲南中学校 (秋田県大仙市)
全校生徒

聞く + 話し合う



プログラムの振り返りと
意見交換 (8/1)

整理 + 評価



オンライン交流授業 (10/26)

大曲南中学校 3年生29名
セントルイス中学校 (キリバス共和国) 2年生

知る + 話す + 考える



【成果】

- 生徒の行動変容
- 「気候変動教育」の視点の整理
- ネットワークの強みを生かした「東北」の連携
学校、地域ESD拠点、ESD実践者、東北センター企画運営委員

気候変動による影響と対策に関する、学びと実践

地球規模課題：気候変動

6/30 (木)



講師：
国立環境研究所
気候変動適応センター(CCCA)
吉川副センター長

地球温暖化の進行で雨の降り方が極端化すると…



↑ ↓ 吉川副センター長講演資料
出典) A-PLATイラスト素材集

緩和とは？

2つの 適応とは？



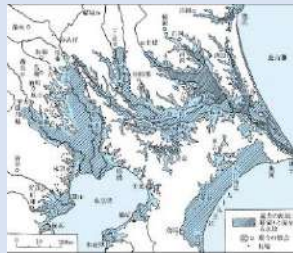
気候変動による、水害リスクの増大について理解する。

地域課題：防災 7/8 (金)

地域固有の具体的な防災上の危険箇所と、その理由を理解する

地域の地形の成り立ちを知る

(講師：流山市立博物館 学芸係長)



約6,000年前前は年平均で、今より1~2℃気温が高く、関東地方では海面が今より2~4m高かった

縄文の遺跡は、水害を受けにくい高台にある



ハザードマップについて

(講師：流山市役所 防災危機管理課)
洪水ハザードマップの見方、危険箇所の解説をしていただき、市内で水害リスクが高い場所、災害時の対応、避難所について理解する。

身近な地域に潜む、水害リスクのある場所と、その理由を理解し、防災リテラシーの必要性を理解する。

これらの外部講師による講座や、体験、探究を通じて、気候変動の影響、地域の地形と危険な場所、避難所の運営などについて理解し、自ら考え行動できる人材を育成したい。

夏季課題

探究：自分の興味のあるテーマで深掘りする

関心を持ったテーマについて探究することで、気候変動、防災リスクを「自分ごと化」する。

避難所開設訓練

流山の災害リスクを理解し、その上で、発災時にできることを、リアリティを持って体験する



11/11 (金)

自治会の方と合同で、簡易ベッド、トイレの設営、誘導などの訓練を実施。

フォーラム

自分が一連の学習を通じて学んだことを発表することで、学習内容が腑に落ちる。

【成果】中学生にとって、気候変動問題は、自分ごと化しづらい面もあるが、自分たちの住む地域の土地の成り立ち（縄文時代の気候変動）という、身近な話題によって関心を持たせ、その上で、ハザードマップを用いて具体的な水没危険箇所の把握、さらには実際に中学校が避難所になることを想定した「避難所開設訓練」を自治会の方も参加して実施できた。

地域づくりのための気候変動社会教育

～5月

6-10月

11月

12月

1月～3月頃

準備

学びあいの場の開催と研究会

社会ESD実践活動

全国ESDフォーラム
(12月)

ワークブック
試行版のとりまとめ

- ・ ワークブック関連知見の収集と分析
- ・ 学びあいの場プロジェクトの実施計画

- ・ 学びあいの場①の開催 (8/25)
- ・ 学びあいの場②の開催 (9/1)
- ・ 第1回研究ワーキング (6/21) 全体計画とワークブック改善の方向性
- ・ 第2回研究ワーキング (9/26) 学びあいの場実施の振り返り、実践活動の計画

- ・ SDGs社会教育実践セミナーの開催 (11/25)

- ・ 全国フォーラムへの参加 (12/10)
- ・ 第3回研究ワーキング (12/20) ワークブックブラッシュアップ

- ・ ワークブック内容のとりまとめ
- ・ 試行版の公開



脱炭素人材 大野に育成

ワーキンググループ

古澤礼太 中部大学国際ESD/SDGsセンター准教授
 水上聡子 アルマス・バイオコスモス研究所代表
 堺 勇人 一般社団法人 環境市民プラットフォームとやま事務局長
 原理史 中部大学国際ESD/SDGsセンター研究員(非常勤)
 ゲストアドバイザー 佐藤真久 東京都市大学教授

学び合い①②講師陣

江守 正多 東京大学 未来ビジョン研究センター 教授
 木原 浩貴 総合地球環境学研究所 客員准教授
 杉山 範子 名古屋大学大学院環境学研究科 特任准教授



現場から学ぶ！SDGs人材育成ワークブック
企業研修/生涯学習/地域づくりSDGs社会教育・学び合いヒント

目次(案)

はじめに

1. ローカルSDGs実現のための人づくり「SDGs社会教育」が必要なわけ
2. 「SDGs社会教育」の学習目標～どんな人になってほしいか
3. 実践方法を考える～中部地方の実例から①
4. 実践体制をどのように構築するか～中部地方の実例から②
5. 具体的に実施してみる～中部地方の実例から③
 - (1) 海岸ごみからSDGsを考える
 - (2) 気候変動教育をまちづくりに活かす
6. 実践効果をどう考えるか 具体的な測定方法

【成果】

オンラインセミナー2回(第1回60人、第2回61人参加)
気候変動ワークショップ(会場30人、オンライン21人参加)
専門家による研究会3回の議論とワークブック編集(予定)

脱炭素社会の実現に寄与するライフスタイルを促す ESD学習プログラムの創出

【参加者】 学校教員、地球温暖化防止活動推進員、
地域ESD拠点、社会教育施設、企業、学生等

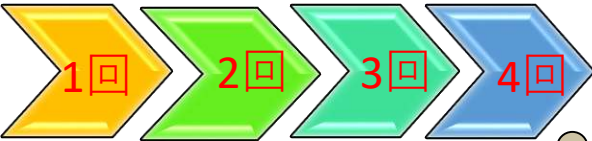
【講師】 奈良教育大学ESD・SDGsセンター



【実践者】 ★拠点は共に地域ESD拠点

①比叡山高等学校 / 滋賀県地球温暖化防止活動推進センター
②箕面自由学園小学校 / 林野庁近畿中国森林管理局箕面森林ふれあい推進センター

学校教員が拠点のプログラム（出前講座）を活用した「ESD学習指導案」を作成・実践

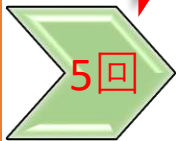


★学校と拠点が授業のねらい・想いを共有することで効果的な連携につながった。
★参加者同士の意見交換・学び合いを生かして学習者の行動化を促す実践にブラッシュアップできた。

授業実践

①高校家庭科
風呂敷から考える
持続可能な未来

②小学校理科
「流れる水のはたらき」から
森林の役割や環境保全を考える



ESD for 2030の担い手育成及び地元情報誌と連携した成果の可視化・発信



【成果】



ESDの担い手及び学び手の育成、そのプロセスや成果の発信



身近な海の生物多様性や海洋資源の持続可能な利用の理解



マルチステークホルダーによるESD実践機会の創出

四国ESDバーチャル大学 ○○×気候変動教育

目的

ESDについての理解を図りながら、この四国ESDバーチャル大学を基幹に地域ESD拠点と連携することで、地域とつながるESD・SDGsツーリズムの促進、気候変動教育との連動など、具体的なプロジェクトの実現を目指し、地域から社会変容を促すこととする。

対象

テーマに関心のある全国の地域ESD拠点関係者、関係NPO/NGO、企業、ESD実践者、一般

講師や話題提供は
地域ESD拠点の
みなさん!

今後のお知らせ

暮らし×気候変動教育

断熱で暮らしはどう変わる?
ワークショップで実践!

気候変動への関心の高まりの中、私たちにできることは何でしょうか。今回は「暮らし」から持続可能な四国について考えることを目的とし、中でもその効果がわかりやすい「建物の断熱」について、勉強会と実践(ワークショップ)を行います。ワークショップでは天然木から作られた木繊維断熱材を使います。木材の利用がサステナブルで健康な暮らしの実現につながることから、気候変動教育についても話し合う機会とします。



当日の様子



ESD(Education for Sustainable Development)の略
四国ESDバーチャル大学(ESDVU)
今年度のテーマは「○○×気候変動教育」!!

オンラインで学ぼう!

ESD・SDGsの視点で地域の魅力を再発見!!

ESD・SDGsツアー ×気候変動教育

Zoomによるオンライン開催 参加費無料

近年、「マイクロツーリズム」や「持続可能な観光」という言葉が表れるように、観光・ツアーのあり方が変わってきています。四国にはさまざまな地域の魅力があり、今回はESDやSDGsの学びをセットにしたツアー開発の検討から、持続可能な四国について一緒に考えます。また、環境化などへの関心の高まりを踏まえ、「気候変動」というエッセンスも加えて観光を考えてみます。

※参加費には参加回数費を旅行します(事前に感想を頂いた方対象となります)

「四国ESDバーチャル大学」とは、どこにいても気軽にESDに触れていただくため、オンライン上で学びの場を提供しています。ESDとの出会いが、地域の理解、社会を変える力になります。このESDから、地域を動かしていきます。ぜひお気軽にご参加ください。

第1回 ツアー企画を考えよう!!

ESD/SDGsの視点から、新しい切り口でツアー企画を考えます。みなさんの地域の魅力を発見しましょう!

2022
10月21日(金) 16:00~17:30

◆プログラム
16:00~ 開会挨拶、概要説明
16:25~ グループワーク
17:15~ グループ成果発表
17:25~ 講師、次回に向けての宿題
17:30 閉会

◆お申込みはこちらから! (締切 10/20(木))
<https://forms.office.com/r/CkYueX4D3v>

第2回 ツアーの商品化を進めよう!!

第1回で企画した内容をブラッシュアップ! 参加に必要なポイントを学び、持続可能な観光を考えます。※講師のみの参加とさせていただきます。

2022
11月25日(金) 16:00~17:30

◆プログラム
16:00~ 開会挨拶、概要説明
16:25~ グループワーク
17:15~ グループ成果発表
17:25~ 講師、次回に向けての宿題
17:30 閉会

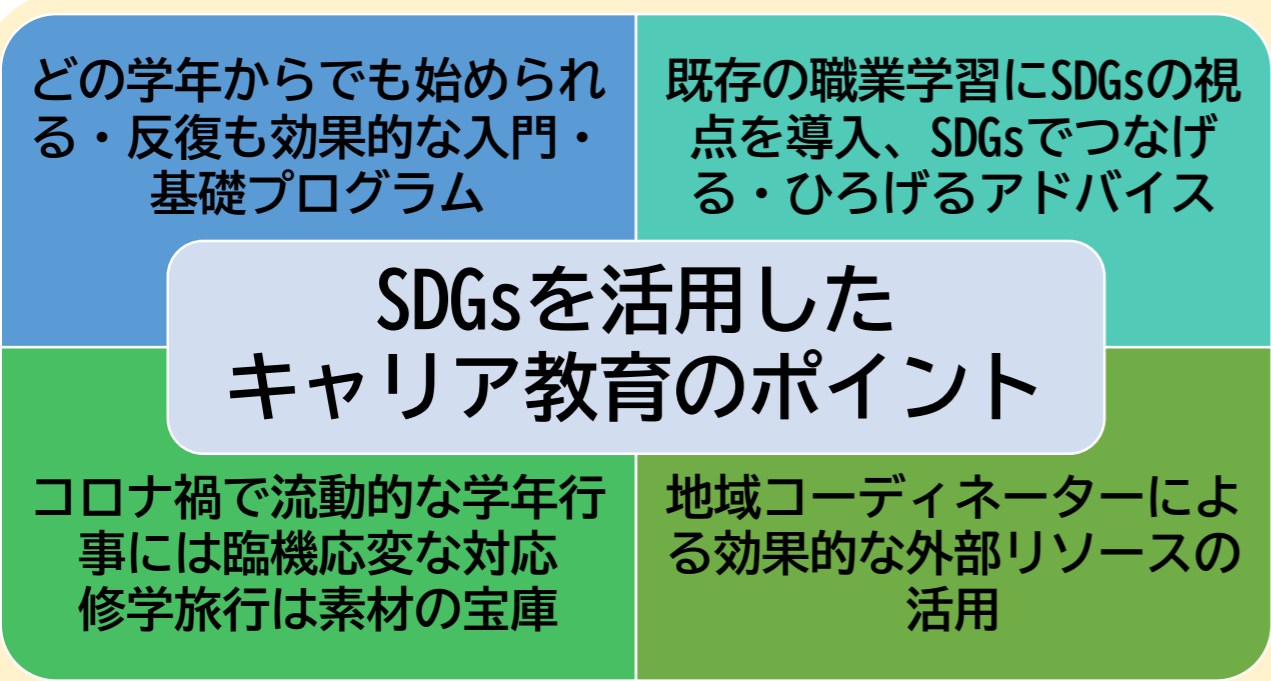
◆お申込みはこちらから! (締切 11/24(木))
<https://forms.office.com/r/hhWJ8U6TrzW>

◆講師紹介 松浦英人さん(東みよし町建設課長補佐)
2005年より、徳島県の東みよし町観光担当を11年間務める中、いなか暮らしを体験型観光でブランディングし、「一般社団法人そらの郷」を設立。「にし阿波観光圏」や「世界農業遺産」認定にも関与。また、阿波踊り連長として、グローバルな伝統芸能交流による地域のシビックプライド醸成への取り組みを推進。その後、そらの郷に出身し、課長兼マネジメントリーダーとして、世界農業遺産を背景とするSDG4.7(ESD)に軸足を置き、修学旅行や、東アジア・欧米豪を中心とした訪日教育旅行の受入れ拡大に努める。

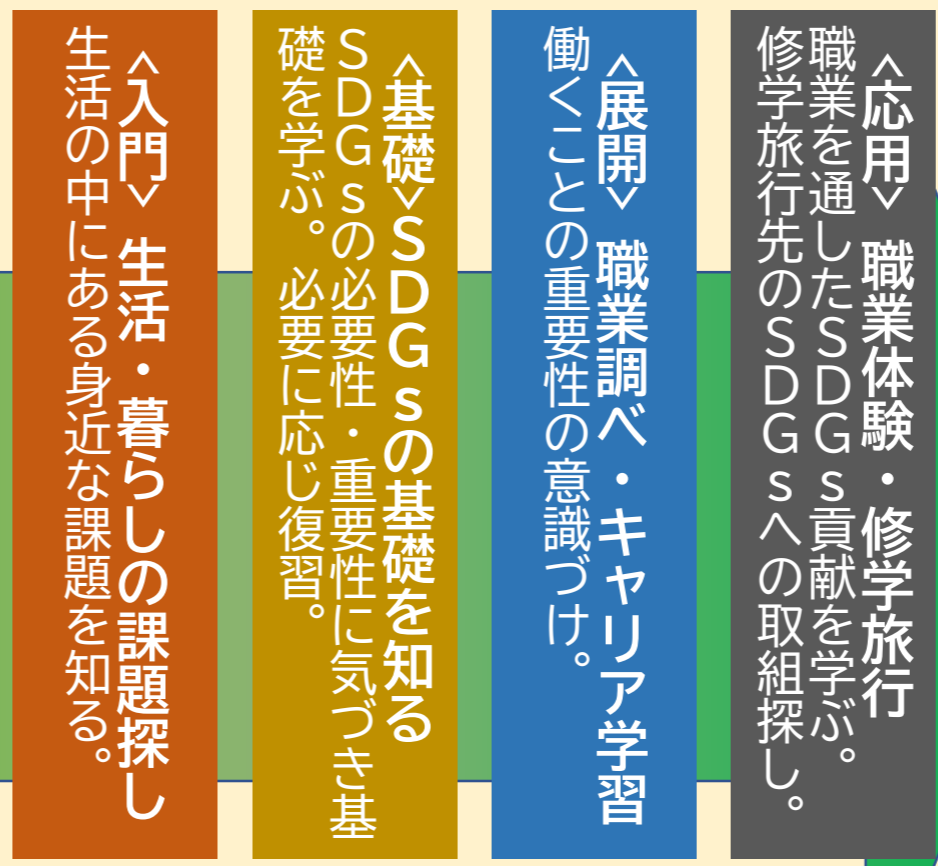
【成果】

- 「いつでも・どこでも・誰でも」ESDに触れ、気軽に学べる場を提供。
- 地域ESD拠点を含む、四国におけるESD/SDGsツアーの可能性を検討し、「ESDを商品化する」ことの意義、ツアーと気候変動へのつながりを参加者間で共有することができた。

学びのステップに応じたSDGsの活用 × 地域ぐるみのESD活動推進に向けて 中学校におけるSDGsを活用したキャリア教育



● 2年間の主な支援活動（R3～4年度）



**SDGsの視野をもった
キャリアプランニング能力形成**

【成果】
公立中学校の総合的な学習の時間における、SDGsを活用したキャリア教育（全学年／2年間）の取組を通して、カリキュラムの段階に応じて<入門>→<基礎>→<展開>・<応用>とSDGsを効果的に活かすモデルパターンの構築を図った。